



本誌では昨年より、「シカゴビジネス支援コーナー Q & A」と題して、本会議所HP上でビジネスの最新情報をご提供いただいている会員企業の皆様に同様の情報をご寄稿いただいております。今回はキマタパーソネル&コンサルタンツ社とそのNYアソシエイトのイマ・コンサルティング社から、去る3月10日(木)に開催された機械部品部会(大沢部会長 オーエスジー)主催「人事・雇用管理ワークショップ」の内容を中心にご紹介いただきます。

中西部日系企業の求人活動と給与動向

キマタパーソネル&コンサルタンツ社  
副社長 木全 健一

はじめに

2001年9月11日のテロ事件以降低迷していた当地日系企業の求人活動も、2004年にいたってダイナミックに回復し、2005年3月現在も人材への需要は近年にない高水準で推移しています。(付表1「年度別求人動向:キマタパーソネル社求人案件の推移」参照。)

以下職種別に求められる人材像と日系企業で支払われる給与の動向をご説明いたします。

1) 一般事務&セールスアシスタント

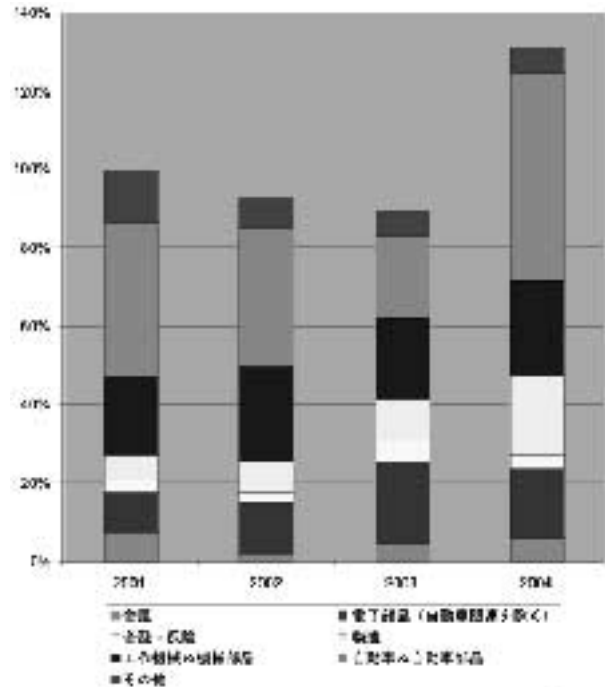
“Administrative Assistant”といったタイトルで求人する場合も、一般事務に加えセールスサポートや経理など、多機能をこなせる人材でなくては採用しない、というケースが増加しています。また、日本語英語に加え、中国語やスペイン語を話す人材に、中国や中南米オペレーションとのリエゾン機能を期待するケースも増えてきたのが最近の特徴です。

上記のような“Multi-Task Performer”志向が雇用者側に高まっている反面、ビザサポートがますます難しくなっている現状から、バイリンガルアシスタントの給与水準は、アドミニアシスタントの場合で前年比9パーセント増で、全米平均34,660ドル、エグゼクティブアシスタントになると10.2パーセント増で43,458ドルと、大きな上昇が見られました。(日本経済新聞アメリカ編『在米日系企業における現地スタッフの給与に関する調査:2004レポート』による。)

2) セールス

近年の自動車のハイテク化・ハイブリッド化に伴い、自動車向け電子機器セールスポジションの求人が急増しています。日本語スキルの高いエンジニアをセールスエンジニアとして雇いたいという要望も多いが、そういった人材は非常に限られているのが現状です。

付表1:年度別中西部求人動向  
木全パーソネル社求人案件の推移



セールスも給与水準の伸びが著しい職種であり、営業担当が12.7%増で52,601ドル、マネージャークラスになると10.7%増で79,137ドルの平均給与が米国内日系企業で支払われました。

3) エンジニア

過去4年を通じて日本企業の匠の技を生かしたプラスチック、金型業界が好況が目立ちました。

優秀なエンジニアでコミュニケーションスキルにも長け、連日の出張も厭わないという人材を多くの会社が求めています。分業意識の強いアメリカでそういった人材を求めるのは容易なことではなく、そこに弊社のような人材斡旋業者の腕の見せ所があると考えております。

付表ではエンジニアの平均給与に分野による細区分がありませんが、弊社の調べたところ、顧客ニーズを製品に反映させるアプリケーションエンジニアの給与水準が特に上昇傾向にあり、マネージャークラスの平均給与は、シカゴエリアの米系企業で85,000ドル台になっています。

4) 会計

会計は日本本社との連絡業務があるため、日本語スキルの高い人に任せたいという会社が多く、この傾向は今後も続くと思われます。従って、適任者を得るためにビザサポートが必要な場合が比較的多く見られます。

